

八碁連だより

令和7年8月号
第406号



発行日 令和7年8月1日(金)

発行所 八王子囲碁連盟

住 所 八王子市美山町 1287-9

電 話 042-651-9764

発行者 藤森 力

編集者 巻淵 正治



<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟

検索

大盛況の長房大会

巻頭言

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

私の囲碁

中野囲碁同好会 小田 浩靖

私は齢81歳、現在初段。囲碁歴はといえば、若い時、会社の昼休みに弁当を食べながら、いわゆる「ざる碁」を打っていた程度で、その後は囲碁のことはすっかり忘れていました。数年前に友人に、仲間内だけの「小さな囲碁の集まり」に誘われて、なんとなく参加したのがきっかけで囲碁を再開することになりました。当然「やると負」でしたが、たまに勝つとこれが楽しい！段々欲も出てきましたが、自己流オンリーなのでちっとも強くならない……

そんな時、かわいそうに思った(?)高段者の友人(七段)が、毎週2局、「待ったあり」「勝ち負け関係なし」の「指導碁」を打ってくれることになり、勉強する機会を得ました。同じころ、昔の「ざる碁」仲間の一人から「ネット碁」(パソコン上で対戦する。)の

誘いがありました。コロナ騒動で退屈していたので喜んで参加しました。

最初は勝ったり負けたりの特ントンでしたが、段々、例の「指導碁」の効果が出てきて、勝率が少しずつ良くなっていきました。相手はかなり焦っていたようでしたが、「指導碁」のことはしばらく秘密にしていました。「ネット碁」の良さは、お互いの都合さえつければ、いつでも打てるということと、へぼ碁でも棋譜が遡れるということです。後で見ると自分が(相手も)いかに「勝手読み」の手を打っていたかが分かって、とても面白いし、勉強になります。

そうこうしているうちに、指導碁の友人から「中野囲碁同好会」に入ろうという誘いがあり、昨年4月に入会して今に至っています。ここは高段者が多いのですが、私のような初段者にも気持ちよく対応してくれて、楽しく遊ばせて(勉強)いただいております。それに家にごろごろされているよりは、ボケの防止にもなるだろうと、妻も喜んでいるようです。無趣味な私ですが、二段になったら堂々と「趣味は囲碁です」と言おうと思っていますが、この年齢ではなかなか…まっ、楽しいからイイか…

最後になりましたが、八碁連のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念して、拙い巻頭言を終わります。

注1、無料囲碁サークル <https://www.syougo.jp/shogo/circle.html>

★第33回生きいき大会の結果

【長房大会】令和7年7月13日 会場：長房市民センター

◆参加者数

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	長房	南大沢	一般	計
15	19	11	8	5	4	15	6	10	93

一般の内訳(大和田3名、恩方7名)

◆Aクラス

優勝： 相澤 秀一 (浅川／七段)
準優勝： 小川 浄二 (南大沢／八段)
3位： 藤森 力 (恩方／七段C)

◆B クラス

優 勝： 小高 茂夫 (石川／五段 A)
準優勝： 丸居 和也 (浅川／四段)
3 位： 木村 勇 (南大沢／三段)

◆C クラス

優 勝： 長野 千恵蔵 (長房／三段)
準優勝： 秋山 一雄 (長房／二段)
3 位： 宮寄 勲 (恩方／初段)

◆D クラス

優 勝： 松田 都美雄 (元八王子／二級)
準優勝： 田中 真司 (一般／一級)
3 位： 田口 昇 (一般／四級)

★第 7 回多摩地区 28 市町対抗囲碁団体戦

8 月 24 日に開催されます団体戦のメンバーが決まりました。団長は、宮崎副会長。主将、副将は、無差別で小川さんと金本さん。3 将は、三島さん、4 将は、シニア枠の藤森会長。5 将は、一般で女性枠の丸居さん、6 将は、ご主人の丸居さん。7 将、8 将は、森本さん、小田さん。9 将は、子ども枠の馬（子ども大会で優勝）さん。補欠は、棚原さん、巻淵です。応援よろしくお願いします。なお、プロ棋士による指導碁もあります。

★研修部囲碁大会

研修部の最大段位が五段のため、参加資格は五段とさせていただきます。

◆開催日時 令和 7 年 9 月 13 日 9:10～17:00
◆会費 1000 円（昼食代含む）
◆会場 東浅川保険福祉センター
◆締め切り 8 月 31 日（日）
◆申し込み先 研修部事務局長 森田 隆士
E メール:t_morita@msi.biglobe.ne.jp

★八碁連地区同好会対抗団体戦

この大会は棋聖戦に代わるもので、一昨年から始まり、隔年で行われ本年は2回目となります。目的は交流と親睦を深めるためのもので、各同好会からは2チーム（1チーム3名）の参加とし、全体で16チーム、48名で競い合います。

各地区同好会からは、6名の参加となりますが、どうかご協力をお願い致します。

開催日時 9月21日（日） 9:10～

会場 東浅川保険健康福祉センター

【編集後記】

先ず、6月～7月に開催された囲碁口座「腕を磨いて、小学生と碁を打とう」について、感想を述べたいと思います。私もいつか子どもたちに囲碁の面白さを伝えたいとの思いと、会長からのお誘いもあり、参加することにしました。参加者は八碁連から10名（大半は恩方の会員）と一般の方（初心者）8名近く。会場は駅近くのクリエイトホール。講師は囲碁案内人の方たちで、私たち経験者は、倉内先生に教わりました。毎週水曜日、3回の講座と、4回目は第五小学校の子どもたちと碁のふれあい。

講座では、準備された資料に基づいて、囲碁の入門、囲碁の作法・マナー、囲碁の初心者指導の留意事項、囲碁の用語等について解説があり、囲碁の歴史や文化についても触れられました。実践面においては、石取りゲーム、劫、セキ、ヨセ等問題集（9路盤、7路盤）に添っての解説。対局は9路盤でしたが、基本の要素が詰まっているので、大変勉強になりました。

長房での生き生き大会は、93名の参加者があり、4クラスに分かれて熱戦が繰り広げられ、大盛況でした。帰りは、浅川土手の緑道をぶらぶらしながら帰りました。

